

II 主催事業

〔5-①〕「第1回 ハンターから逃げ切れ！ サバイバルおにごっこ」



1. ねらい

- (1) 自然の中で運動する楽しさを味わう。
- (2) 自然の中での活動を通して自然に親しむ心を育てる。
- (3) 活動を通して家族や友達とのつながりを深める。

2. 実施日

6月28日(日)

3. 対象者

2人～3人のグループ
(小学校3～6年生の児童を含む家族や友達)

4. 募集定員/応募人数/参加人数

16組/71組(187人)/16組(39人)
(キャンセル1名)

5. 「第1回 ハンターから逃げ切れ！

サバイバルおにごっこ」のスケジュール

9:30	受付
10:00	開会式(プレイホール)
10:30	施設案内・自然観察
11:30	休憩・昼食(ガーデン広場)
12:20	ルールの説明
12:50	おにごっこ(第I部)
13:50	休憩・成績発表
14:10	おにごっこ(第II部)
15:10	休憩・成績発表
15:15	閉会式、アンケート(ガーデン広場)
15:30	解散

開会式と施設案内・自然観察

梅雨空のもと心配された雨も止み、予定通りの開催となった。また今回は新型コロナの影響で募集人数を減らしたため16組39名の参加となった。開会式では準備運動を兼ねたアイスブレイクも身体接触を伴わないものとした。引き続き逃走範囲やルール確認するため施設内を巡り、復活ミッションに関わる植物の名称と特徴などを伝えた。参加者からは「とても分かりやすかった」「勉強になった」という声が聞かれた。



おにごっこ(第I部)

密を避けるためスタート場所をメイン広場とし、いよいよカウントダウン。高まる緊張感の中、合図とともに逃走開始。1つ目のミッションは「センター内にばらまかれた封印の丸太コイン(鍵)を探し出し、ハンターボックスにはめこみロックせよ!」という

もの。ハンターの目をかいくぐり、丸太コインを探すのは難しかったようで、クリアならず。2体のハンターが追加された。2つ目のミッションは「丸太コインを自分の背よりも高く積み上げろ!」というもの。こちらはチャレンジする班も多く、追加ハンター2体のうち1体の放出を阻止することができた。第I部は16組中1班だけが一度も捕まらず50分の逃走を成功させた。

おにごっこ(第II部)

休憩をはさんで、おにごっこ第II部。1つ目のミッションは赤・青チーム別の協力戦、「ストラックアウト的9枚すべてを落とせ!」というもの。1班5回ずつのチャレンジであったが、なかなか的に当たらずにクリアはならず。2体のハンターが追加された。2つ目のミッションはサバおに恒例の「丸太切り」。子ども達はヒノキの丸太に悪戦苦闘!班で協力して切り終えるもクリアはならず。さらに2体追加され、ハンターは7体となった。第II部では50分の逃走を成功させたのは2組であった。

復活ミッション

施設案内時に紹介した「植物に関するクイズ」(植物の写真と名前を一致させる)と、「投げた松ぼっくりを竹カップでキャッチできれば復活」というものを行い、ほぼ全員復活することができた。

6. まとめ

閉会式では、全ミッションにチャレンジし成功を収めた唯一の班にミニ賞状を贈呈し、参加者全員で健闘をたたえた。今回はほぼ全員が初の参加者だったので、イベント自体とても新鮮に感じたようである。アンケートには「とても楽しかった」「また参加したい」という声が多く、ハンターをはじめスタッフをねぎらう言葉も聞かれた。

